

# 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



財団法人 建材  
中央試験所長 勝  
埼玉県草加市稲荷 5 丁



試験名称	筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験			
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場 8 4 - 9			
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物            名称：木造建築用筋かい金物            商品名：クリ筋かいストッパー II KSP II            用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と柱との止め付け部に使用する金物            取付位置：横架材から上下160mmの位置で壁体内に設置            取付方法：筋かい金物の内側に筋かいを設置して緊結（図-1参照）            寸法：110×35×116mm, 厚さ2.3mm（図-3参照）            材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)</p> <p>2. 接合具            木ねじ：クリ皿ビス5.5×45, 筋かい側7本使用, 柱側8本使用            長さ：45mm, ねじ部の長さ：38mm, ねじ部の外径：5.5mm            谷の径：3.4mm, ねじ山のピッチ：3.1mm, ねじ先の形状：とがり先            材質：SWCH18A (JIS G 3507-2)            表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m, 高さ2.73m）            梁：べいまつ, 105×180mm            土台及び柱：すぎ, 105×105mm            間柱：すぎ, 30×105mm            筋かい：べいつが, 45×90mm</p> <p>4. 試験体数 3体            参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）</p>			
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。			
試験結果	<p>1mあたりの基準せん断耐力：3.5kN, 終局変形角<math>\gamma_u</math>の平均値：1/15rad            耐力算定基礎資料等：表-2～表-4            荷重-せん断変位包絡線の比較：図-5            荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-6～図-12            破壊状況：写真-1～写真-4</p>			
備考	当該試験結果は，平成12年告示第1460号の一の二に定める 45×90mm以上の木材に取付ける筋かいプレートに該当する。			
試験期間	平成19年 5月22日 ～ 23日			
担当者	構造グループ	試験監督者	川 上 修	室 啓 和
		試験責任者	渡 星 一	高 橋 太
		試験実施者	小 山 博	由
試験場所	中央試験所			